

## 市民のみなさまへ(ごあいさつ)



札幌市教育委員会  
教育長 檜田 英樹

札幌市では、少子化の影響により児童生徒数の減少とともに1校あたりの学級数が減少する「学校の小規模化」が進んでおります。

小規模な学校は、家庭的な雰囲気の中で、教員が子どもたち一人ひとりにきめ細かく関わりやすいなどの長所がある一方で、効果的なクラス替えが行えず人間関係が固定化する、多様な価値観に触れる機会が限られる、配置される教職員も減るため学校運営に支障が出る等、様々な課題が生じる可能性があることが指摘されています。

子どもたちがたくましく育ち、社会性や協調性のほか、向上心、創造性、多面的思考や公正な判断力を身に付けるためには、「集団による学びの力」が非常に大きな役割を果たします。

未来を担う子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、札幌市教育委員会では、「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」に基づき、学校規模の適正化の取組を進めております。

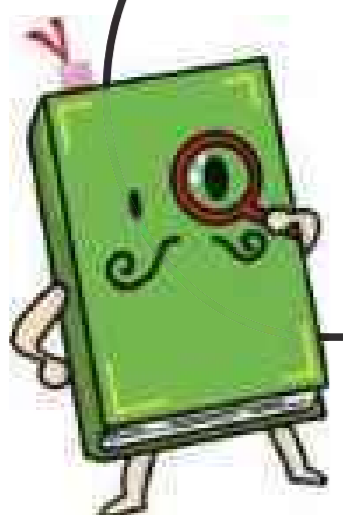
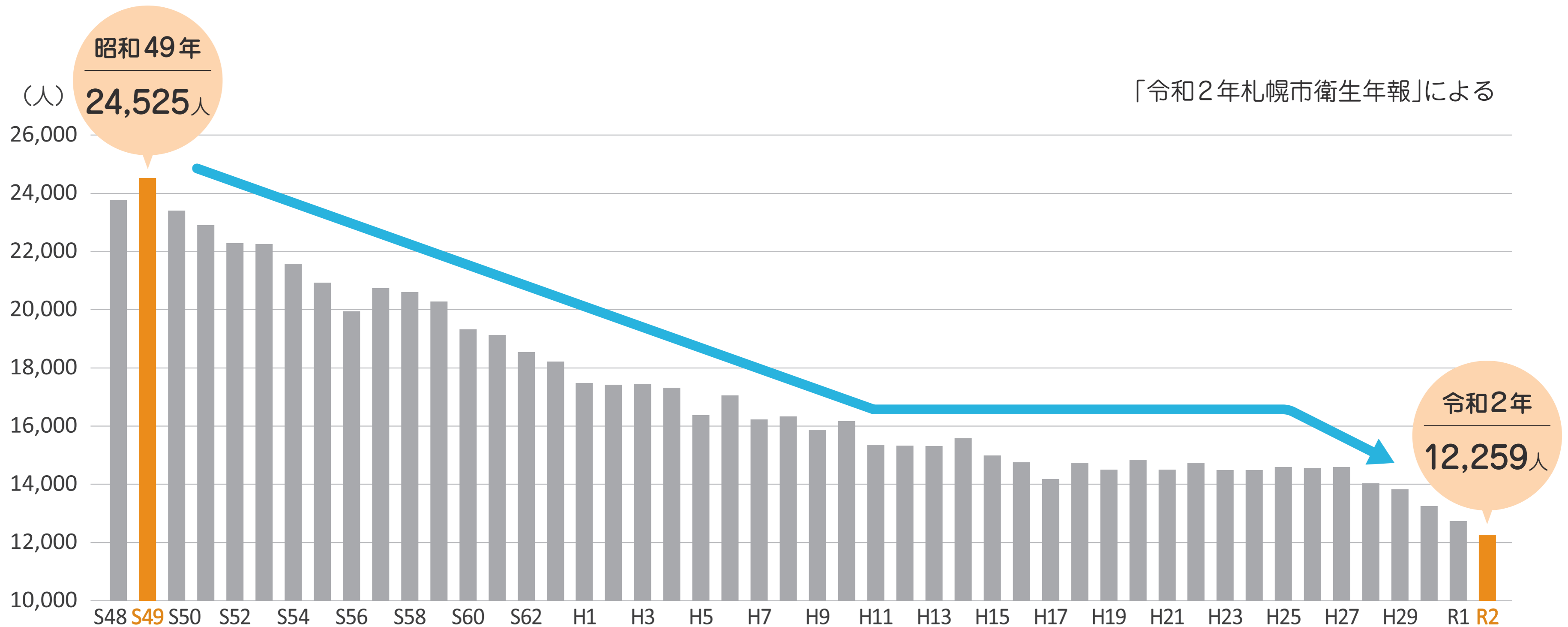
本地域の取組にあたっては、保護者や地域の皆様から寄せられた声をしっかりと受け止めながら、今後具体的な検討を進めてまいります。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 子どもの数はそんなに減ってるの？

出生数が一番多かった昭和49年(第2次ベビーブーム期)の24,525人に比べて、令和2年は12,259人まで減少しているんだ。



### 札幌市の出生数推移



少子化に伴って、1校あたりの学級数が減少する「学校の小規模化」が進んでいるよ。だから学校規模適正化の取組が必要となるんだ。

## 「学校規模適正化の取組」ってなに？

「学校の小規模化」が進んでいる中、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため「学校の統合」や「通学区域の変更」により一定の学級数を確保し、「学校の規模」を「適正」にする取組のことを言うんだ。



# 「適正な学校規模」ってなに？

## 小学校

18～24学級(1学年3～4学級)

少なくとも12学級以上(1学年2学級以上)

## 中学校

12～18学級(1学年4～6学級)

少なくとも6学級以上(1学年2学級以上)

### 札幌市立小中学校の「適正規模」設定の観点

- 効果的にクラス替えを実施できる規模
- 指導面の連携や、登下校時・緊急時における体制づくりが円滑に行える教職員体制の確保
- 一人の教員が複数教科を担当することのない教員数の確保(中学校)

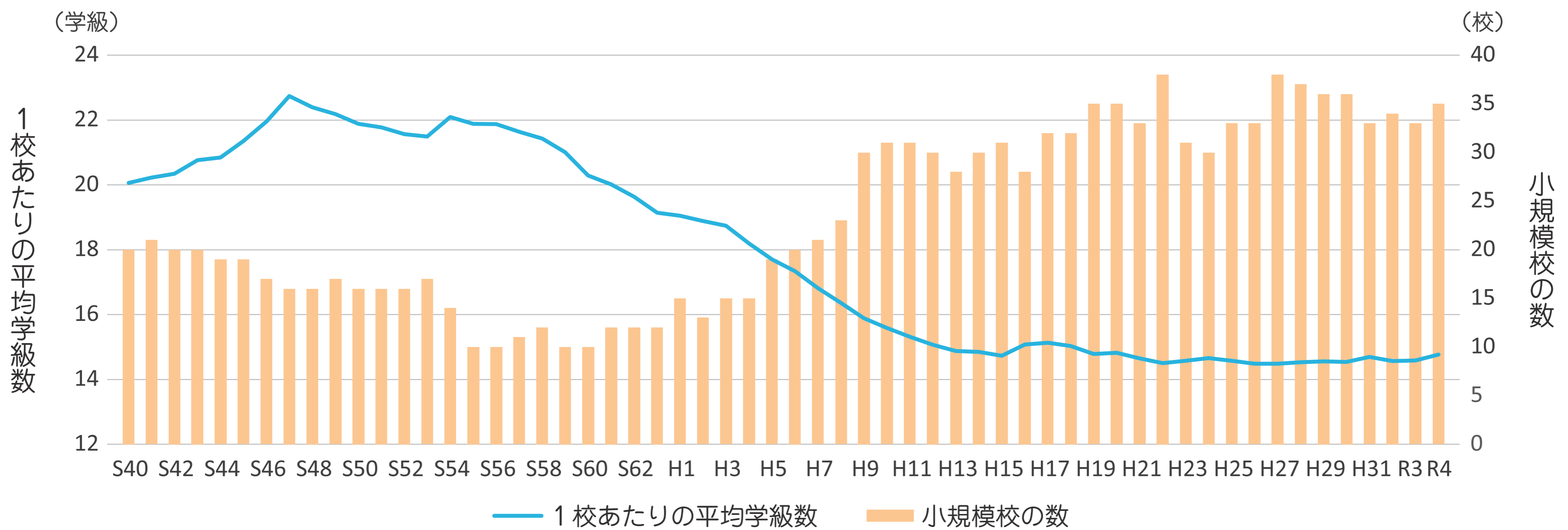
など

札幌市では小学校は12学級未満、中学校は6学級未満の学校のことを小規模校と呼んでいるよ。



# 小規模校はどれくらいあるの？

## 1校あたりの平均学級数と小規模校数の推移(小学校)



※小規模特認校4校(盤溪小、有明小、駒岡小、福移小)は除く



令和4年時点で小学校35校・中学校3校が小規模校となっているんだ。「学校の小規模化」に伴って、小規模校の数が平成以降増加傾向にあることがわかるね。

※小学校では、1学級の最大人数を40人から35人にする少人数学級の取組を進めており、令和4年度の平均学級数は、前年度に比べてやや増加しています。

## 学校が小規模化してはだめなの？

小規模な学校にはメリットと課題の両面があって、一般的には以下のようなことが言われているよ。



### 小規模な学校の**メリット**

- 一人一人の学習状況や、学習内容の定着状況を把握しやすい。
- 意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- 異年齢の学習活動を組みやすく、校外学習などを機動的に行いやすい。
- グラウンドや体育館、特別教室などが余裕をもって使える。

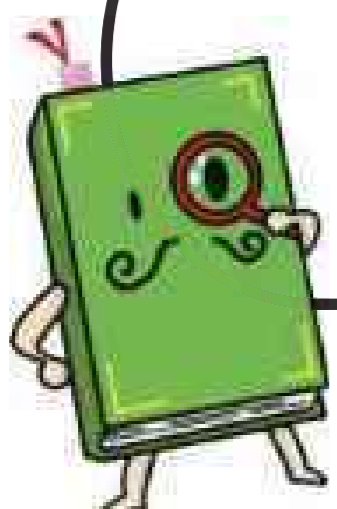
など

### 小規模な学校の**課題**

- クラス替えが困難となり、人間関係が固定化し、集団活動の機会が限定される。
- 運動会や学習発表会などの学校行事において、種目や演目が限られる。
- 様々な価値観への出会い、社会性や協調性、コミュニケーション能力を伸ばす機会が限られる。
- 学校行事において、児童生徒の安全・安心の確保や円滑な運営に必要な体制を整備しにくい。

など

現在の小規模校では、課題をカバーし、メリットを生かすような教育を各学校が工夫して行っているよ。



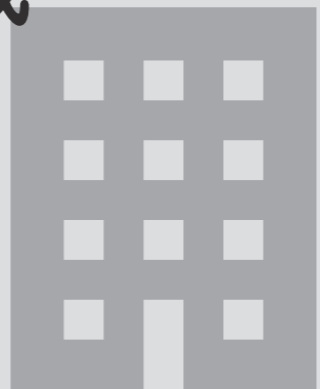
## 「学校規模適正化の取組」は 札幌市や教育委員会が進めるの？

学校に通う児童生徒の保護者や地域の皆さんとよく相談しながら進めているんだ。具体的には以下のステップで検討を進めているよ。



### 「取組イメージ」を検討・作成

- 札幌市
- 教育委員会



### 「取組イメージ」の説明・意見交換

- PTA 役員(保護者代表)
- 連合町内会役員(地域代表)



∖ 現在はこの段階です /

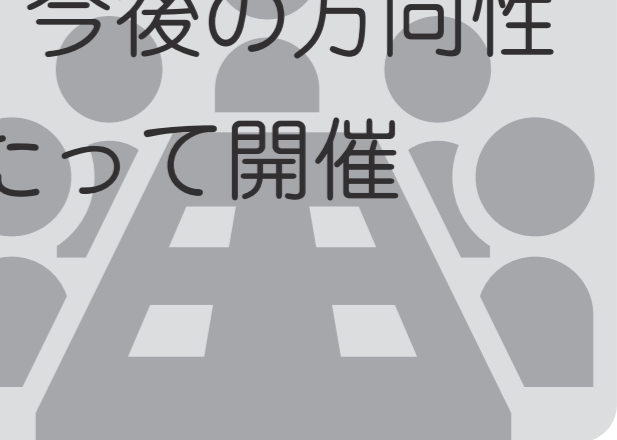
### 「地域説明会」を開催

地域や保護者の方への周知  
及び意見募集



### 「検討委員会」を開催し、 「取組イメージ」をたたき台として協議

- 学校統合や公共施設の複合化の課題や、その解決方法、今後の方向性
- 年3～4回、数年にわたって開催  
開催結果は各世帯へ周知



### 「意見書」を提出

最終的に「検討委員会」で協議した内容を  
まとめ、札幌市・教育委員会に提出

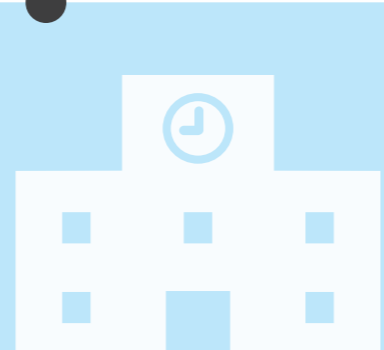


### 「意見書」の内容を最大限に尊重して、 統合・複合化に向けた準備・施設整備

- 札幌市
- 教育委員会



### 統合校開校



## 検討委員会ではどんなことを話し合うの？

通学区域のこと、校舎整備のこと、まちづくりセンターや児童会館の複合化のこと、閉校後の跡活用のことなどを話し合うよ。  
特に通学に関しては、これまでの検討委員会でも議題となっていることが多いよ。



### 札幌市の通学に関する考え方

通学区域の設定にあたっては「徒歩通学」を基本としています。  
徒歩通学の目安は、小学校はおおむね2 km以内、中学校はおおむね3 km以内です。  
これらの通学距離を超える場合は、路線バス等を活用した通学方法を検討します。

# これまでどんな学校で取り組みが行われたの？



平成16年4月開校 資生館小学校  
(創成小、大通小、豊水小、曙小が統合)



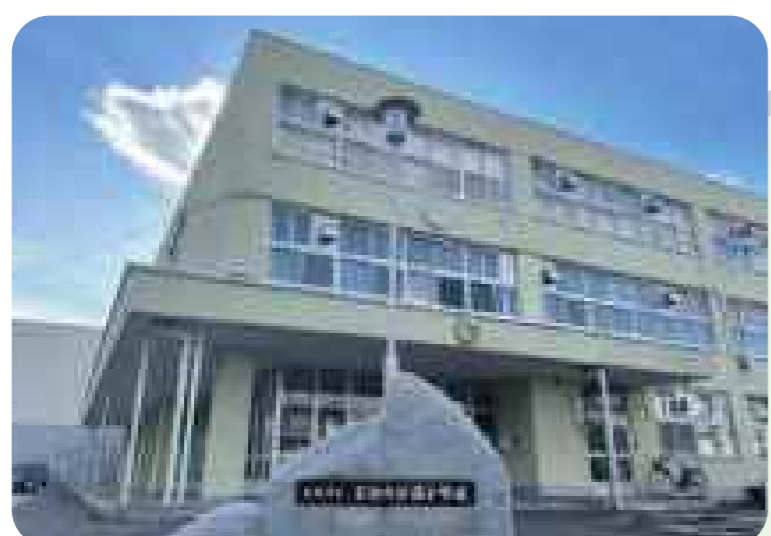
平成23年4月 米里小学校・中学校に  
東米里小・中がそれぞれ統合



平成23年4月開校 もみじの丘小学校



平成23年4月開校 もみじの森小学校  
(もみじ台小、もみじ台南小、みずほ小、  
もみじ台西小の4小が2小学校に統合)



平成24年4月開校 真駒内公園小学校  
(真駒内曙小、真駒内小が統合)



平成24年4月開校 真駒内桜山小学校  
(真駒内南小、真駒内緑小が統合)



平成28年4月 簾舞小学校に豊滝小  
が統合



平成31年4月開校 石山緑小学校  
(石山小、石山南小が統合)



令和3年4月開校 芸術の森小学校  
(常盤小、石山東小が統合)



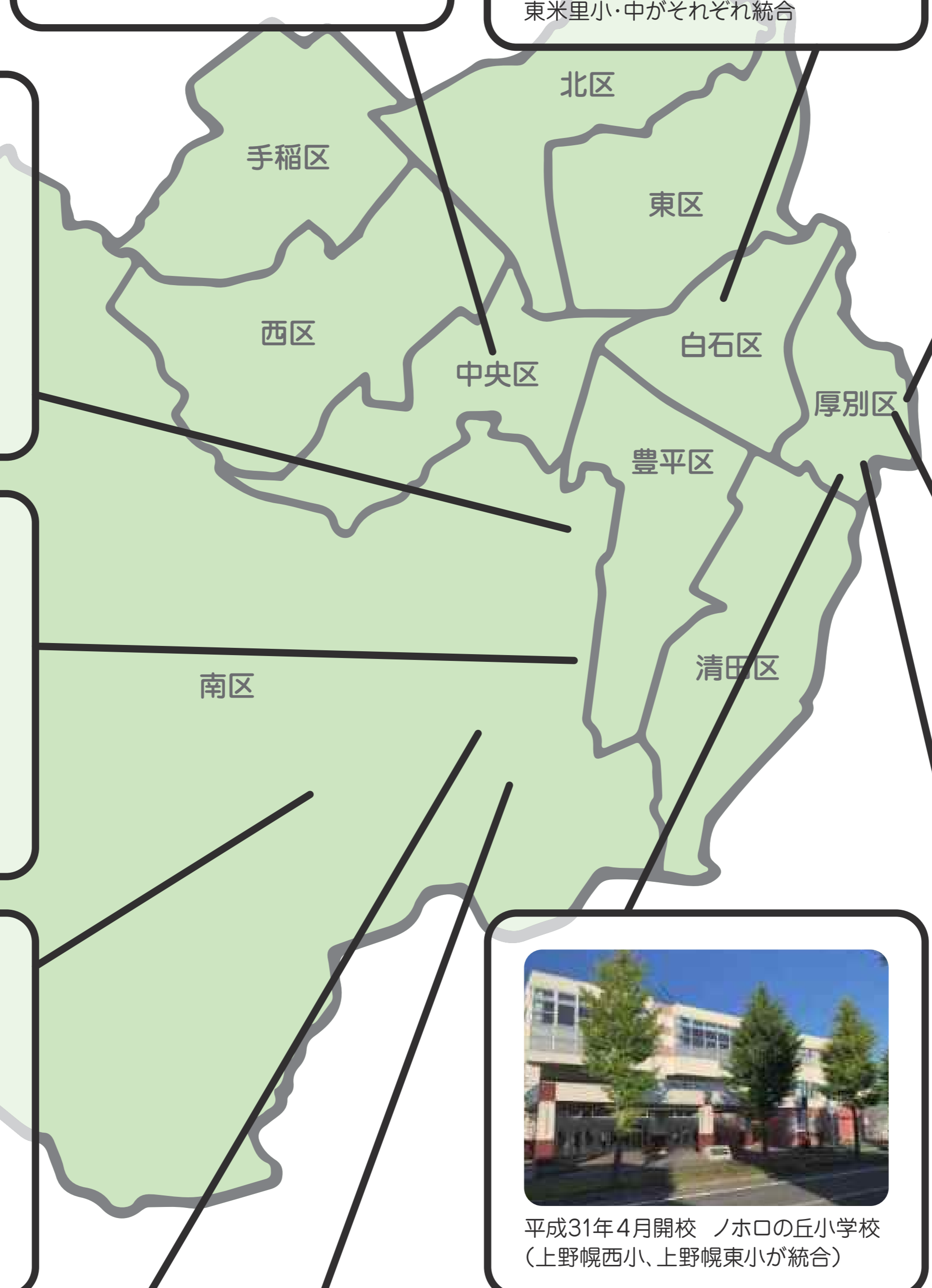
平成31年4月開校 ノホロの丘小学校  
(上野幌西小、上野幌東小が統合)



令和4年4月 もみじ台中学校にもみ  
じ台南中が統合



令和2年4月開校 新札幌わかば小学校  
(上野幌小、青葉小が統合)



これまでは、南区や厚別区の地域における取組が比較的多いけど、少子化に伴い、札幌市全体で小規模校化が進んでいるよ。

